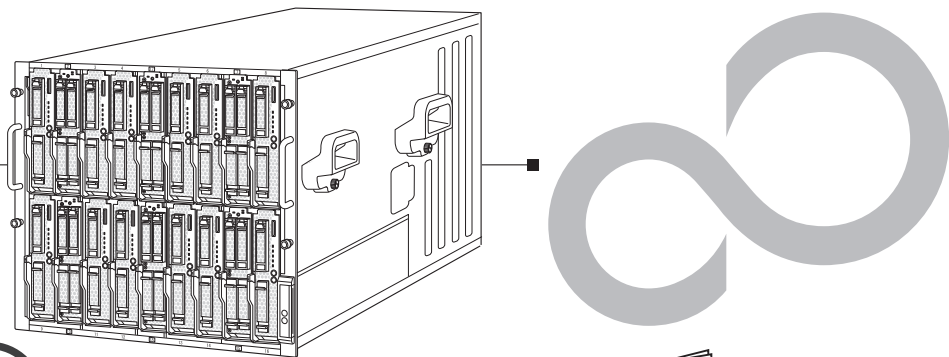




# PRIMERGY BX900 はじめにお読みください

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本書では、PRIMERGY BX900ブレードシステム(以降、本製品)の導入について、セットアップの基本的な流れを説明しています。  
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。  
本書に記載されていない項目や詳しい手順については、関連する各マニュアルをご覧ください。

B7FH-6101-01-00



## 本製品のマニュアルについて

本製品の主なマニュアルは、次のとおりです。各ステップの右上に、そのステップで使用するマニュアルが記載されていますので、必要に応じてお読みください。

紙マニュアル(本製品に添付)	製品によっては、これ以外にも紙マニュアルが添付されている場合があります。
●はじめにお読みください	本書
●梱包物一覧(シャーシ)	それぞれの箱に梱包されている製品、部品、ケーブル、ネジなどの一覧
●梱包物一覧(サーバブレード)	本製品を安全にお使いいただくための注意事項、およびサポート情報
●安全上のご注意/サポート&サービス	本製品をラックに搭載する手順、およびラックナット/ラックレール取付位置の実寸図
●ラック搭載ガイド	

## PRIMERGYスタートアップディスク

- 詳しくはルートフォルダの「index.html」を開き、「PRIMERGYドキュメント」をクリックしてください。
- シャーシ ハードウェアガイド ..... BX900ブレードシステムの概要と、各コンポーネントの搭載手順、シャーシの運用と保守など
- ユーザーズガイド ..... サーバブレードの取り扱いや、内蔵オプションの取り付け、運用保守、トラブルシューティングなど
- マネジメントブレード ユーザーズガイド ..... ブレードシステムの管理機能の使い方、設定情報のバックアップなど
- ソフトウェアガイド ..... OSインストール方法や注意事項、高信頼ツールの概要と設定など
- ストレージブレード ハードウェアガイド ..... ストレージブレードの取り付け、取り扱い、仕様など
- ServerView Operations Manager ユーザーズガイド ..... ServerView Operations Managerでサーバの監視を行うための設定や操作など
- ServerView Windows エージェント ユーザーズガイド ..... ServerView Linux エージェント ユーザーズガイド ..... REMCSエージェント運用ガイド ..... REMCSエージェントの使用方法

## アレイコントローラ ドキュメント&ツールCD

- Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド ..... サーバブレードのオンボードSASコントローラの取り扱い
- MegaRAID SASユーザーズガイド ..... ストレージブレードに搭載されたアレイコントローラカードの取り扱い

## 「PRIMERGY」ページ(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>)にて公開

- コネクションブレード関連マニュアル ..... 「カタログ・資料」→「マニュアルはこちら」の順にクリック
- 各マニュアルの最新版 ..... 「システム構成図」をクリック
- 搭載可能なコンポーネントの確認 ..... 「技術情報」をクリック
- サーバ導入やシステム構築に関わる技術資料 ..... 「技術情報」をクリック

ブレードシステムの概要については、『シャーシ ハードウェアガイド』をご覧ください。

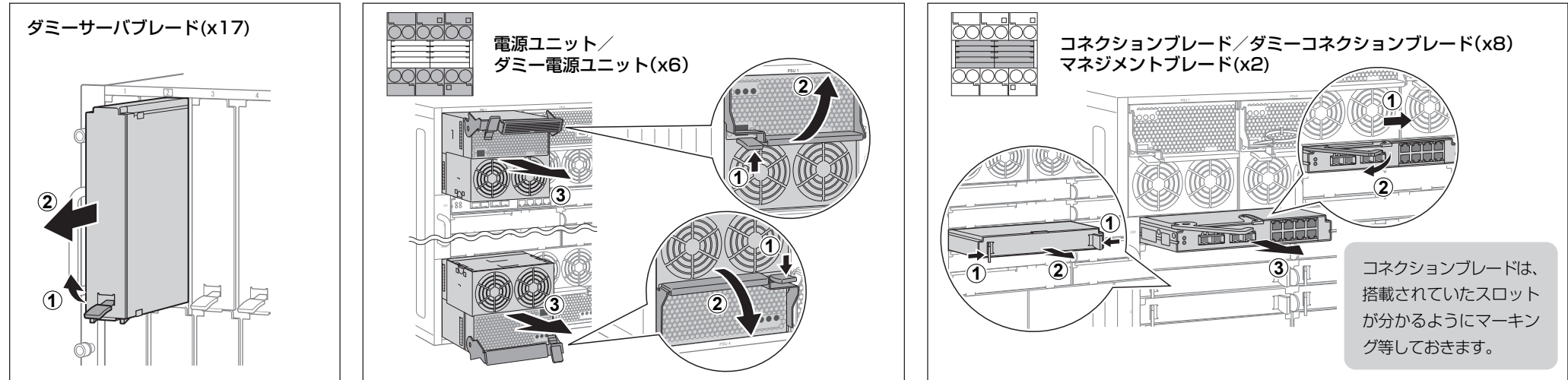
## 2 シャーシを設置する

### 設置条件について

本製品は、ラックに搭載して使用します。ラックの設置および取り扱いについてはラックに添付のマニュアルをご覧ください。  
本製品のラック搭載条件や消費電力などの設計構築に必要な情報については、『PRIMERGY』ページの「技術情報」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/tec.html>)で公開されている「ラックシステム構築ガイド」および「サーバ消費電力・質量計算ツール」をご覧ください。  
なお、本製品は、専用室での使用を前提に設計されており、オフィス環境での運用には騒音上の問題が発生いたします。専用室へ設置してください。

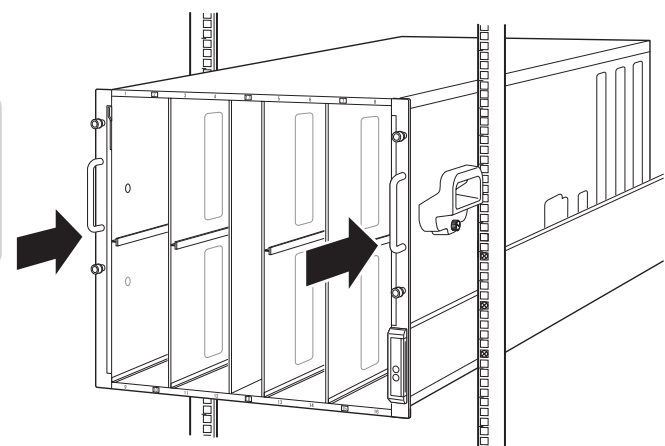
### コンポーネントを取り外して軽量化する

シャーシには、標準搭載のコンポーネント、およびカスタマイドサービスで選択されたコンポーネントがあらかじめ搭載されています。  
油圧リフターなどを使用しない場合は、安全のためすべてのコンポーネントを取り外してからラックに搭載してください。  
なお、これらを取り外して約49kgの質量がありますので、搭載作業は3人以上で慎重に行ってください。



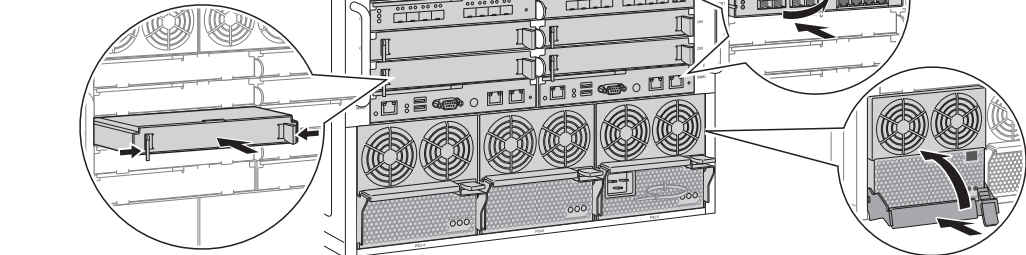
### シャーシをラックに搭載する

ラックへの搭載手順は、『ラック搭載ガイド』をご覧ください。



### 取り外したコンポーネントをシャーシに戻す(背面)

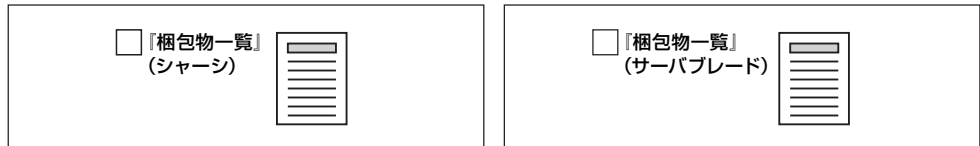
シャーシ背面から取り外したコンポーネントを元通りシャーシに取り付けます。



## 1 作業を始める前に

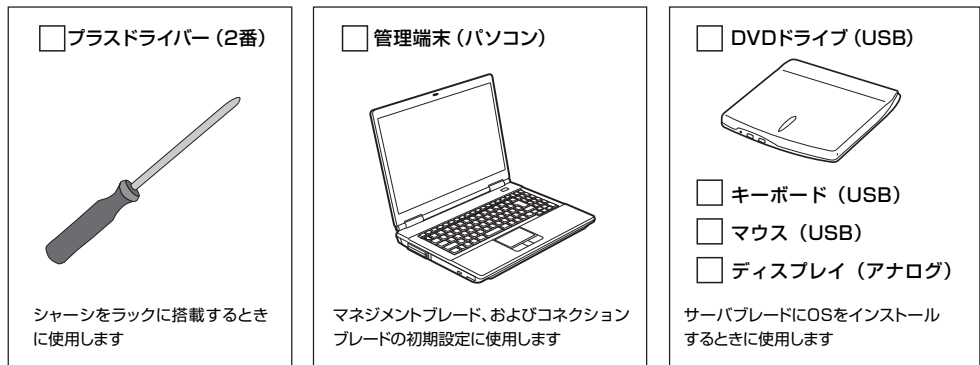
### 梱包物を確認する

シャーシ、およびサーバブレードそれぞれの「梱包物一覧」をご覧ください、梱包物がすべて揃っているか確認してください。



### 必要なものを 用意する

本製品のセットアップには、製品に同梱されているもの以外にも次のものがようになります。  
作業を始める前に、すべて揃っているか確認してください。



### 『安全上のご注意』を確認する

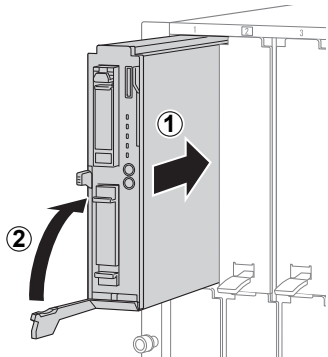
『安全上のご注意』には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に取り扱ってください。  
また、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。



## 3 サーバブレードを搭載する

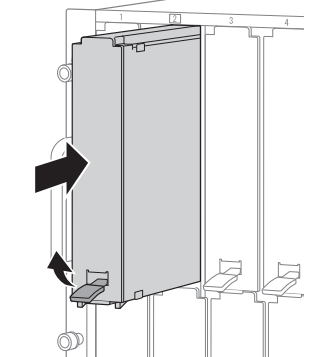
### サーバブレードを取り付ける

サーバブレードに別売オプションを取り付ける場合は、サーバブレードの「ユーザーズガイド」をご覧ください。



ストレージブレードは、ここではまだ搭載しません。接続するサーバブレードのOSインストールが完了してから搭載してください。

### ダミーサーバブレードを取り付ける

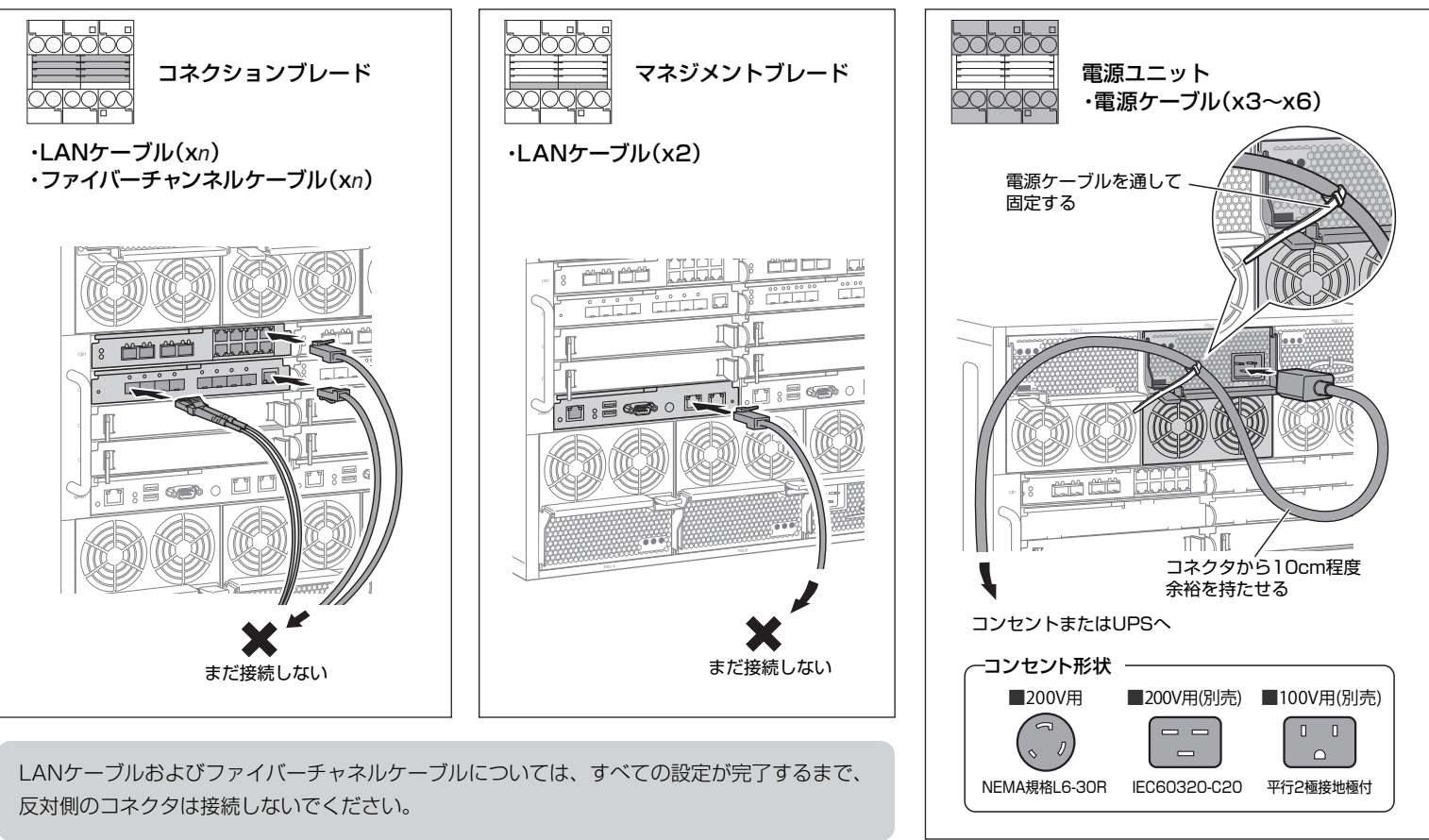


空きスロットには、必ずダミーサーバブレードを搭載してください。

## 5 シャーシ背面に各種ケーブルを接続する

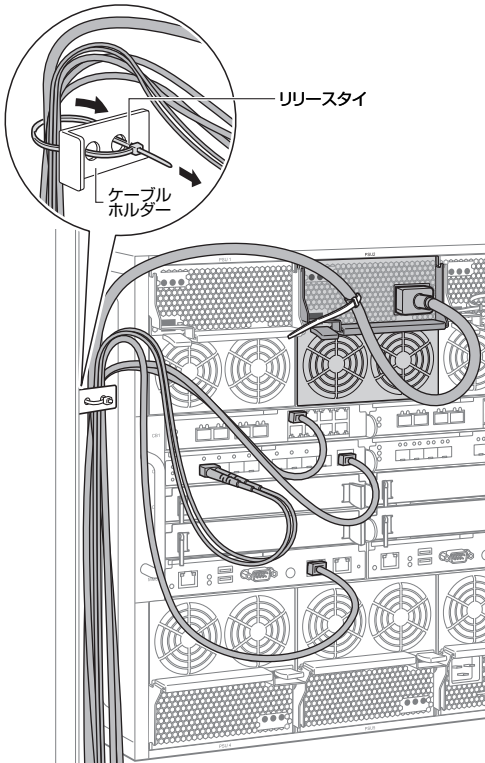
### ケーブルを接続する

各コネクションブレード、マネジメントブレード、および電源ユニットに対応するケーブルを接続します。



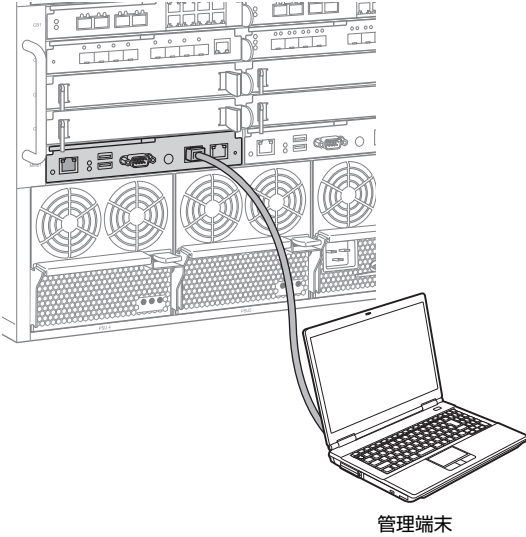
### ケーブルのフォーミング

リリースタイ(シャーシに添付)を使用して、各種ケーブルをまとめてケーブルホルダー(ラックに添付)に固定します。



## 6 マネジメントブレードの初期設定をする

### 管理端末を接続する



### SVMFの起動

必要な設定を行うために、マネジメントブレードのServerView Management Blade Frontend(以降、SVMF)にログインします。  
1.管理端末のIPアドレスを、マネジメントブレードの初期値(192.168.1.10)と同一ネットワーク、かつ重複しない値に設定します。  
2.管理端末からWebブラウザを起動し、192.168.1.10にアクセスします。  
3.次のユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名: admin パスワード: admin  
SVMFの初期画面が表示されます。

### ファームウェアの版数を確認する

- 1.左下の設定項目メニューで「コンポーネント」→「マネジメントブレード」を展開し、「マネジメントブレード-1」をクリックします。
- 2.「ファームウェア版数」の値を記録します。
- 3.「マネジメントブレード-2」をクリックし、同様に「ファームウェア版数」の値を記録します。
- 4.インターネットに接続されている他の端末でPRIMERGYページの「ダウンロード」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>)を開き、「ダウンロード検索」をクリックします。
- 5.製品名に「BX920 S1 サーバブレード」、カテゴリに「ファームウェア」、OSに「OS選択なし」を選択し、「添付ソフト/ドライバ名称」欄に「マネジメントブレード」と入力して「検索開始」をクリックします。
- 6.表示された一覧から、最新のファームウェアのバージョンを確認します。
- 7.手順3で確認したファームウェアが最新でない場合は、最新のファームウェアをダウンロードして更新します。  
ファームウェアの更新手順は、ダウンロードしたファームウェアのドキュメントをご覧ください。

### 初期設定ウィザードを実行する

- 1.左下の設定項目メニューで、「設定」の左の「+」をクリックして展開し、「基本設定ウィザード」をクリックします。
- 2.「次へ」をクリックします。
- 3.「言語の選択」画面で、両方の項目に「日本語」を選択して「次へ」をクリックします。
- 4.「日付と時刻の設定」画面で、現在の日時を入力し、タイムゾーンを選択して「次へ」をクリックします。
- 5.「設定のインポート」画面で、「設定のインポートの実行」がチェックされていないことを確認して「次へ」をクリックします。
- 6.「識別情報設定」画面で、システム名などの識別情報を入力して「次へ」をクリックします。
- 7.「ネットワーク設定」画面で、管理ポートのネットワーク情報を設定し、「次へ」をクリックします。  
(例)IPアドレス: 192.168.1.10  
サブネットマスク: 255.255.255.0  
ゲートウェイ: 192.168.1.1
- 8.「電源管理設定」画面で、「電源ユニット管理の設定」にチェックを付け、冗長構成を選択して「次へ」をクリックします。
- 9.「暗証番号設定」画面で、LCDパネルを使用するための暗証番号を設定し、「次へ」をクリックします。
- 10.「ハードウェアチェック」画面で、「E-keyingチェック」欄の「開始」をクリックしてE-keyingチェックを実行します。  
エラーが検出された場合は、サーバブレードに搭載した拡張ボードとコネクションブレードの対応を確認してください。
- 11.エラーが検出されなければ、「終了」をクリックします。  
設定が保存され、初期設定ウィザードが終了します。
- 12.IPアドレスを変更した場合には、新しいIPアドレスでSVMFに再接続します。  
なお、セグメントを変更した場合は、管理端末のIPアドレスも同一セグメントに変更する必要があります。

### 管理者アカウントのパスワード変更

セキュリティのため、初期ユーザー「admin」のパスワードを変更します。  
1.「情報」操作→「ユーザー管理」→「ローカルユーザー」の順にクリックし、「名前」欄の「admin」をクリックします。  
2.「パスワード」および「パスワード(再入力)」に新しいパスワードを入力し、「適用」をクリックします。

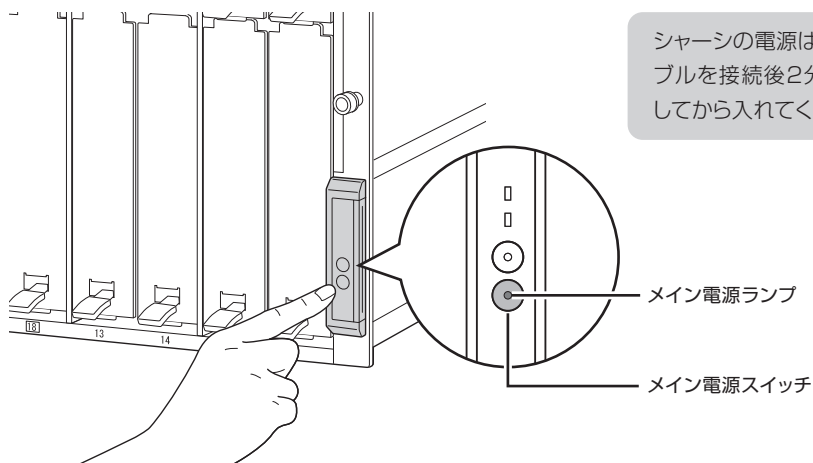
### SNMPの設定

ServerView Operations Managerのサーバ監視機能を使用するために、SNMPエージェントの次の項目を設定します。  
コミュニティ名は、監視を行うServerView Operations Manager側と同じ文字列を設定してください。  
1.「設定」→「SNMP」の順にクリックします。  
2.「コミュニティの追加」欄でコミュニティ名とユーザー権限を設定し、「追加」をクリックします。  
3.「新しいトラップの送信先」欄で、トラップ送信先のIPアドレスと使用するコミュニティ名、通知するイベントの種類を選択して「追加」をクリックします。  
4.「SNMPの有効」欄の「SNMPの有効」にチェックを付け、「適用」をクリックします。



## 7 シャーシの電源を入れる

シャーシ前面右下のメイン電源スイッチを押して、シャーシの電源を入れます。



シャーシの電源は、電源ケーブルを接続後2分以上経過してから入れてください。

- ・お買い上げ時の設定では、シャーシの電源が入ると、インベントリ収集のため搭載されているサーバブレードの電源が断続的に入／切します。インベントリの収集が完了するまで、しばらくお待ちください。
- ・電源を入れた直後にファンが高速回転しますが、故障ではありません。動作保証温度の範囲内であれば、しばらくしてから通常の回転になります。

## 8 OSインストールの準備をする

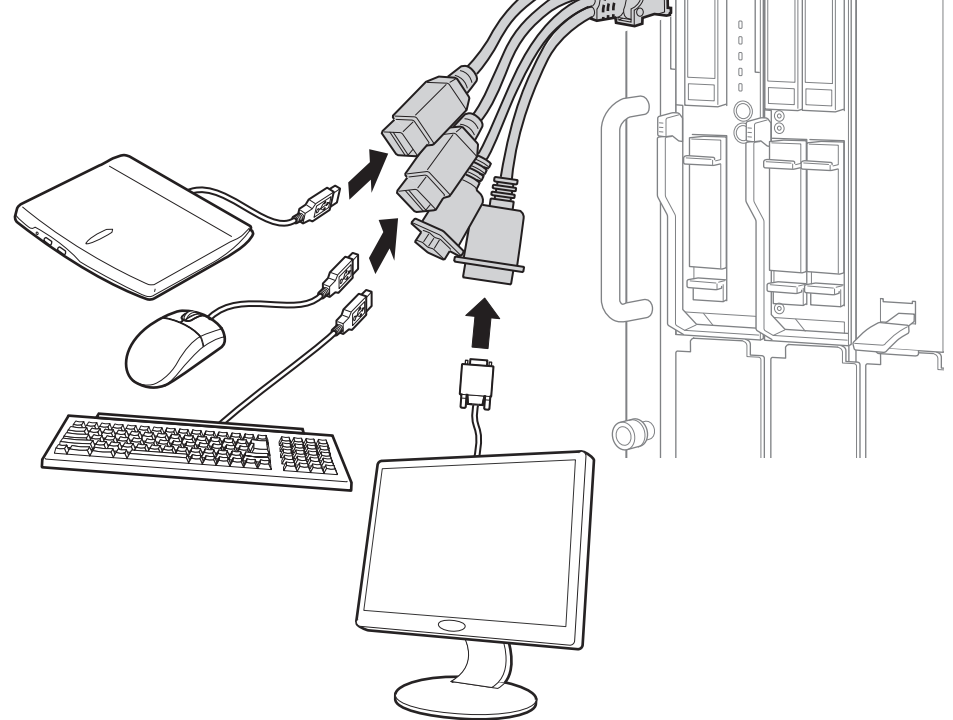
### スタートアップディスクを確認する

OSのインストールには、インストールするサーバブレードに対応した「PRIMERGY スタートアップディスク」を使用します。

- ・シャーシとサーバブレードを同時に購入された場合は、シャーシに添付の「PRIMERGY スタートアップディスク」を用意してください。
- ・別途サーバブレードのみを購入された場合は、サーバブレードと同時手配の「PRIMERGY スタートアップディスク」を用意し、以降の手順はサーバブレードに添付の「はじめにお読みください」をご覧ください。

### DVDドライブとKVMを接続する

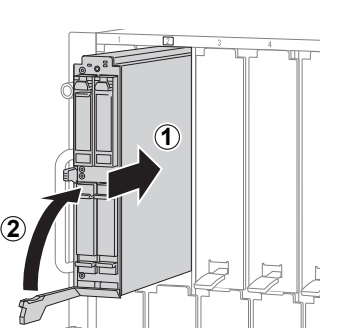
添付のディスプレイ／USB拡張ケーブルを使用して、キーボード、マウス、ディスプレイ、およびDVDドライブ(USB)を接続します。



## 10 OSインストール後の操作

### ストレージブレードを搭載する

ストレージブレードをお使いの場合は、接続するサーバブレードの右隣のスロットに搭載します。



その後、『MegaRAID SAS ユーザーズガイド』をご覧ください、アレイの構築を行ってください。

### LAN設定について

- ☐ LANポートとアダプタ番号の対応確認  
SVIMでは、インストール時に設定したネットワーク情報が、OSから見てもどのアダプタに設定されるかを指定できません。インストール完了後に、必ず設定内容を確認してください。  
確認方法については、各OSのヘルプなどをご覧ください。
- ☐ 他のアダプタの設定  
クイックモードでは、インストール時に設定できるLAN設定は1つだけです。  
必要に応じて、他のアダプタのLAN設定を行ってください。

### システムを最新の状態にする(Windowsの場合)

インストールしたシステムを最新の状態に更新します。詳しくは「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

## 9 OSをインストールする

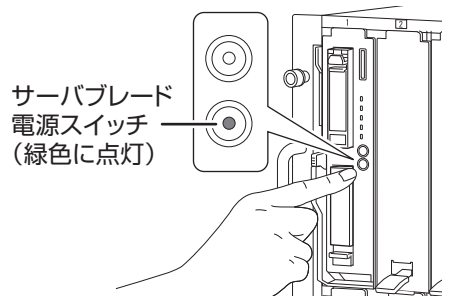
### Linuxインストール代行サービスバンドルタイプをご購入の場合

OSはあらかじめインストールされています。運用前に、システム環境や必要な設定について確認してください。  
詳しくは「ソフトウェアガイド」の「付録B Linuxのシステム環境」をご覧ください。

### OSをインストールする

本書では、ServerView Installation Manager (以降、SVIM)を使用して「クイックモード」でインストールする手順を説明します。他のインストール方法については「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

### 1 サーバの電源を入れて、すぐに「PRIMERGY スタートアップディスク」をセットします。



しばらくするとSVIMが起動します。

### 2 「コンフィグレーションファイルの保存先」欄で「RAMディスク」を選択し、「次へ」をクリックします。

「システムがリブートされると全ての設定情報は失われます。」というメッセージが表示される場合がありますが、「はい」をクリックしてください。

SVIMの初期化処理が行われます。ハードウェアの構成により、初期化処理には数分かかる場合があります。  
初期化処理が終了すると、「ようこそServerView Installation Managerへ」画面が表示されます。

### 3 「Deployment」をクリックします。

「Installation Manager Deployment Process Selection」画面が表示されます。

### 4 「クイックモード」を選択し、「次へ」をクリックします。

「オペレーティングシステムのインストール」画面が表示されます。

### 5 インストールするOSを選択し、「次へ」をクリックします。

「RAIDとディスクの構成」画面が表示されます。

Windows Server 2003 R2 の場合、Service Pack 2 適用済媒体を使用するときのみ「ServicePack 2」を指定してください。添付のインストールディスクにはService Pack 2は適用されていません。「ServicePack 1」を選択してください。

### root/パスワードについて

ご購入時のroot/パスワード(管理者/パスワード)は右記に設定されています。[jW%m9zPn]  
セキュリティのため、パスワードは必ず変更してください。  
パスワードの変更方法については、「ソフトウェアガイド」の「第6章 Linuxインストール後の操作」をご覧ください。

Linuxをインストールする場合は、インストールする前にインストールCDを作成する必要があります。詳しくは「ソフトウェアガイド」の「5.1 CD の作成」をご覧ください。

### 6 RAIDとディスクの構成を設定します。

#### ■新規にアレイを構成する場合

1. 「RAIDコントローラ 0」を選択します。
2. 「新規にRAIDを構築する」を選択し、RAIDレベルを指定します。  
「RAIDレベル」に「自動」を選択した場合、搭載されているディスク数に応じて自動的にRAIDレベルが設定されます。
3. ブートパーティションのサイズを指定します(Windowsの場合)。
4. 「次へ」をクリックします。  
「(OS種別)の設定」画面が表示されます。  
(OS種別)には、手順5で選択したOSが入ります。

「新規にRAIDを構築する」を選択すると、既存のアレイ構成はすべて削除され、論理ディスクが1つ作成されます。

#### ■既存のアレイを使用する、またはアレイを構成しない場合

1. 「RAIDコントローラ 0」を選択します。
2. 「ロジカルドライブ0」を選択します。
3. パーティションサイズを指定します(Windowsの場合)。
4. 「次へ」をクリックします。  
「(OS種別)の設定」画面が表示されます。  
(OS種別)には、手順5で選択したOSが入ります。

### 7 インストールするOSの情報やネットワーク設定などを入力し、「次へ」をクリックします。

「設定内容の確認」画面が表示されます。

添付のインストールディスクをお使いの場合は、「プロダクトキー」は入力しないでください。

### 8 設定内容を確認し、「インストール開始」をクリックします。

「Installation Managerインストールモード」画面が表示され、10秒後にOSのインストールが開始されます。

### 9 ディスク交換のメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってディスクを交換します。

### 『ソフトウェアガイド』

## 11 コネクションブレードの設定 / 接続

### コネクションブレード関連マニュアル

### コネクションブレードを設定する

お使いの環境にあわせて各コネクションブレードの設定をします。ここでは、設定手順の概要のみを説明します。  
詳しい手順、設定内容については、お使いのコネクションブレードのマニュアルをご覧ください。

### 1 管理端末からマネジメントブレードのSVMFにログインします。

接続方法については、表面の⑥をご覧ください。

### 2 ファームウェアの版数を確認します。

1. 左下の設定項目メニューで「コンポーネント」→「コネクションブレード」を展開し、設定するコネクションブレードをクリックします。
2. 「ファームウェア版数」の値を記録します。
3. インターネットに接続されている他の端末で「PRIMERGY」ページの「ダウンロード」(<http://primserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>)を開き、「ダウンロード検索」をクリックします。
4. 製品名に「BX920 S1 サーバブレード」、カテゴリに「ファームウェア」、OSに「OS選択なし」を選択します。
5. 「添付ソフト/ドライバ名称」欄にお使いのコネクションブレードの型名を入力し、「検索開始」をクリックします。
6. 表示された一覧から最新のファームウェアのバージョンを確認します。
7. 手順1で確認したファームウェアが最新でない場合は、最新のファームウェアをダウンロードして更新します。  
ファームウェアの更新手順は、ダウンロードしたファームウェアのドキュメントをご覧ください。

### 3 コネクションブレードのWebインターフェースにログインします。

1. 左下の設定項目メニューで、設定するコネクションブレードをクリックします。
2. 「設定」タブをクリックします。
3. 「管理ポートの設定」欄で、「DHCP有効」のチェックを外します。
4. IPアドレスを、他のコネクションブレード、マネジメントブレード、および管理端末と重複しない値に設定し、「適用」をクリックします。
5. 設定が反映されるまで3分以上待ち、「情報」タブをクリックします。
6. 「管理URL」欄のリンクをクリックします。
7. コネクションブレードのマニュアルをご覧ください、初期アカウントのユーザー名/パスワードを入力してログインします。

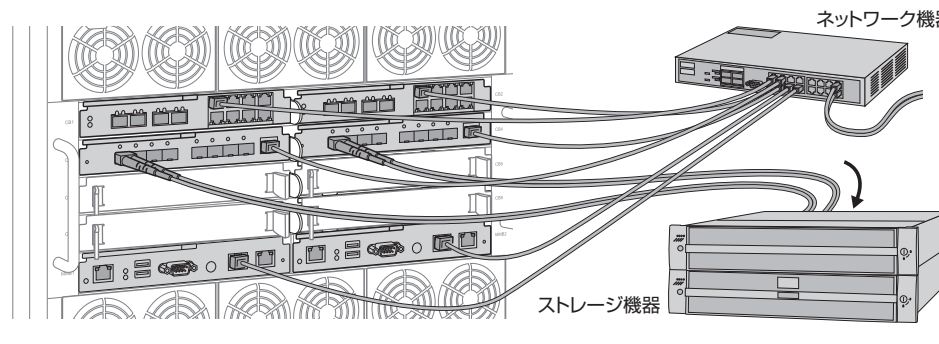
### 4 コネクションブレードに必要な設定を行います。

コネクションブレードのマニュアルをご覧ください、管理者パスワードや時刻設定、VLANの設定など、お客様環境に応じたネットワーク設定を行ってください。

管理者/パスワードは、マネジメントブレードの管理者アカウントと同じものを設定してください。

### ケーブルを接続先機器に接続する

管理端末に接続していたLANケーブルを取り外し、他のLANケーブル/ファイバーチャネルケーブルとともにネットワーク機器やストレージ機器などに接続します。



### 注意事項

#### 使用許諾契約書

富士通株式会社(以下弊社といいます)では、本サーバにインストール、もしくは添付されているソフトウェア(以下本ソフトウェアといいます)をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

#### ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権  
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本サーバでのみ使用できます。なお、お客様は本サーバのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ  
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用(リバックアップ)媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み  
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用することを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製  
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.および3.」の場合に限定されるものとします。  
本ソフトウェアを組み込んだ別のソフトウェアについては、マニュアル等弊社が複製を許諾していない限り、予備用(リバックアップ)媒体以外には複製は行わないでください。  
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
- (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡  
お客様が本ソフトウェア(本サーバに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用/バックアップ媒体を含みます)を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたサーバとともに本ソフトウェアのすべての譲渡を要するものとします。なお、お客様は、本サーバに添付されている媒体を本サーバとは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等  
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲  
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本サーバをご購入いただいた日から90日以内に限り、申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥(破損等)等がある場合、本サーバをご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じます。
- (2) 弊社は、前号に定める責任の範囲外、本ソフトウェアの使用または使用不能が生じうる場合(過失利は、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限定されないものとします)に関して、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
- (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行います。
8. ハイセイティブ  
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイティブ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイティブ用途(ハイセイティブ用途)に必要となる安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイティブ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力規制庁、航空機飛行規制、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器射撃制御など

富士通株式会社

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
Linuxは、Linux Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
Red HatおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作権です。